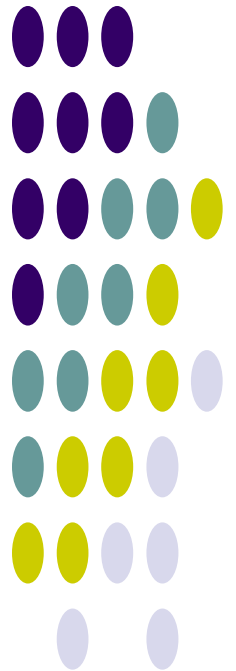


(一般社団法人)

# isj 日本画像学会

## 2009年度表彰

- 学会賞 ● 星野勝義  
功労賞 ● 五十嵐明, 正道寺勉, 富樫光夫  
論文賞 ● 情野國城, 平原秀昭, 小沼崇明, 吉田一郎, 海江田省三  
論文賞 ● 松坂修二, 白井 聖, 細尾康元, 安田正俊  
研究奨励賞 ● 木内 豊, 井上園美, 田中里美  
会長特賞 ● 木村正利, 今井力  
技術賞 ● アルプス電気(株)/寺尾博年, 星野久, 寒川井伸一,  
山本寿之, 竹内実  
日本画像学会に於ける研究奨励賞 ● 小林範久  
日本画像学会に於ける研究賞 ● 井上園美



2010年6月9日(水)  
きゅりあん

## ☆学会賞(第17回) 1件

**星野勝義** (ほしの かつよし) (千葉大学大学院融合科学研究科 教授)



受賞理由：画像記録・表示デバイス用の新規材料開発  
導電性ポリマーと金属薄膜間の腐食反応および金属化合物、有機高分子、低分子物質のナノ・マイクロワイヤー/チューブが自己組織的に形成される電気化学反応を見出し、これらがナノ・マイクロワイヤー/チューブ分散型の透明導電材料に利用できることを示した。また、臭素イオンの電気化学酸化反応により光散乱性の白色膜が形成できることを見出し、可逆生成できる電子ペーパー用白色背景を提案した。さらに、トナーの安定供給と高精細画像を提供すべく、高分子の摩擦帯電現象について検討し、高分子の帯電現象には周囲の水や酸素が関連する新しい帯電モデルを提案した。

## ☆功労賞(第17回) 3件

**五十嵐 明** (いがらし あきら) (富士フイルム(株))



受賞理由：学会発表・論文投稿により、サーマル記録技術の開発に貢献した。学会活動においては、サーマル技術部会の主査を2003年から務めると共に、2007年度には感性工学部会を立ち上げ、学会の新規技術分野の開拓を行なった。その間、2004年から理事を6年間、財務委員を5年間、年次大会実行委員を4年間、用語委員を4年間務め、学会の運営に貢献した。

**正道寺 勉** (しょうどうじ つとむ) (日本工業大学工学部情報工学科 教授)



受賞理由：日本画像学会の企画委員会委員(2000年1月から)、庶務委員会(2002年から)、理事(2006年から)を歴任され、最近では、画像技術用語委員会的主査、運営委員会(旧庶務委員会)の副委員長、法人化検討委員を務めた。また、PPIC国際会議、ICJ年次大会では長年実行委員として積極的に活動し、長年にわたる学会への貢献は多大である。

富樫光夫 (とがし みつお) (旧株パナソニックシステムネットワーク)



受賞理由：日本画像学会の法人化に多大な貢献をされた。2007年法人化検討WGリーダーとして法人化実現に向けた検討、調査、方向性を示し、2010年4月の「一般社団法人日本画像学会」発足への貢献は顕著なものがある。

## ☆論文賞(第24回) 2件

「高ガンマ感光体の光減衰と暗減衰のメカニズム」

日本画像学会誌, 第48巻, 第3号, (通巻第179号), pp. 152-161

情野國城 (せいの くにき), 平原秀昭 (ひらはら ひであき), 小沼崇高 (こぬま たかあき), 吉田一郎 (よしだ いちろう), 海江田省三 (かいえだ しょうぞう) (株式会社アフィット)

受賞理由：X型無金属フタロシアニン顔料をポリエステル樹脂中に分散した電子写真単層感光体は一般に高ガンマ感光体と称されており、光減衰曲線が逆S字を示すインダクション効果を示す。本論文はこの高ガンマ感光体の光減衰特性および暗減衰特性を構造的トラップを考慮した理論的モデルにより説明した。構造的トラップの構造的深さ、トラップ間距離および光キャリア生成効率を決定する解析手法を提案し、理論式は単層感光体の光減衰と暗減衰の実験結果と一致することを確認した。



情野國城



平原秀昭



小沼崇高



吉田一郎



海江田省三

### 「振動細管法によるトナーの流動性の評価」

日本画像学会誌 第48巻, 第3号, (通巻第179号), pp.162-169

**松坂修二** (まつさか しゅうじ) , **白井聖** (しらい たかし) , **細尾康元** (ほそお やすゆき)  
(京都大学) , **安田正俊** (やすだ まさとし) ((有)IMP)

受賞理由：粉体を細管に充填し、一定の割合で振動強度を増加させて下部から排出される粉体の質量変化から流動性を求める振動細管法によりトナーの流動性を評価した。26種類の模擬トナーを用いて流動性プロファイルを求め、トナーの流動性の特徴を調べた結果、本方法は短時間で繰り返し実験が可能であり、トナーの調整条件の僅かな違いに基づく流動性の変化を評価できることが分かった。



松坂修二



白井 聖



細尾康元



安田正俊

## ☆研究奨励賞(第16回) 3件

**木内 豊** (きうち ゆたか) (富士ゼロックス (株) )

### 「感光体表面に付着した放電生成物の定量化」

Imaging Conference Japan 2009 , pp. 71-74



受賞理由：感光体に付着した放電生成物を非破壊で直接測定する方法を考案した。感光体に付着した放電生成物を拭き取り、濃度測定装置により定量化する。具体的に、微小空隙放電およびコロナ放電における放電生成物の付着量を評価し、微小空隙放電の放電ストレスを定量化した。また、微小空隙放電は高速化により放電ストレスが増加することを示した。

**井上 園美** (いのうえ そのみ) (東海大学大学院工学研究科光工学専攻)

「紙とディスプレイ間の疲労差の要因分析—手持ち効果の評価—」  
Imaging Conference Japan 2009, pp. 41-44



受賞理由：紙、電子ペーパーおよび液晶ディスプレイを用いたときの読書作業を自由および固定の両呈示条件において行ったときの疲労特性を定量評価した。3種の読書においていずれも疲労兆候は自由条件では見られず、固定呈示条件では見られた。

**田中里美** (たなか さとみ) (千葉大学大学院融合科学研究科、現トッパンフォームス(株))

「電子ペーパーを目的としたフタル酸エステル誘導体修飾電極系EC素子の発色特性」  
Imaging Conference Japan 2008 Fall, pp. 151-154



受賞理由：マゼンタ発色の有機エレクトロクロミック材料であるテレフタル酸系色素をフッ素添加透明電極表面上に修飾固定したエレクトロクロミック素子を作製し、その発色特性におよぼす対極の効果について検討した。対極にカーボン電極を用いることで、表示メモリー性と耐久性が向上できた。

## ☆会長特賞(第10回) 2件

**木村正利** (きむら まさとし) (富士ゼロックス(株))



受賞理由：長年の理事、監事を歴任し、編集委員、技術委員会副委員長など学会活動の企画運営に参加されました。また、刊行本デジタルプリンタ技術「ケミカルトナー」の執筆など学会の発展に貢献した。



今井 力 (いまい ちから) (株リコー)



受賞理由：ICJ年次大会の実行委員として10年以上にわたり活動し、学会の発展に貢献した。特に、過去の経験を生かしてキーノートの企画を担当し、貴重な講演の企画立案を行った。また、刊行本デジタルプリンタ技術「電子写真」の取りまとめ、事業委員会講習会部会委員を6年間務められ、講習会の講師として学会の活動に貢献した。

## ☆技術賞(第20回) 1件

技術：「1パスフルカラーダイレクトサーマル記録システム (ZINK) の実用化」  
アルプス電気株式会社

寺尾博年 (てらお ひろとし), 星野 久 (ほしの ひさし), 寒川井伸一 (さがわい しんいち), 山本寿之 (やまもと としゆき)、竹内 実 (たけうち みのる)

受賞理由：1パスでフルカラー画像を出力するフルカラーダイレクトサーマル記録システムを実用化した。シアン層、マゼンタ層およびイエロー層からなる積層フルカラー感熱記録紙に加熱記録するときのサーマルヘッドおよび温度制御の最適化により小型薄型の機器組み込み型フルカラープリンタを実現した。本技術は従来のフルカラー熱記録に必要なインクリボン不要にし、1パス記録を可能にしたことは、NIP技術の進歩に大きく寄与するものである。



寺尾博年



星野 久



寒川井伸一



山本寿之



竹内 実

## ☆日本画像学会コニカミノルタ研究奨励賞(第5回) 1件

**小林範久** (こばやし のりひさ) (千葉大学大学院融合科学研究科 教授)

研究題目: 「エレクトロクロミック材料に関する研究」



受賞理由: カラー電子ペーパーの有力候補として有機エレクトロクロミック材料に関する研究を精力的に行っている。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックに着色する材料を見出し、積層構造によりフルカラー表示を可能にした。本研究の今後の展開が期待できる。これらの研究成果に関する発表はImaging Conference Japan 2008 Fallにて行われている。

## ☆日本画像学会コニカミノルタ研究賞(第5回) 1件

**井上 園美** (いのうえ そのみ) (東海大学大学院工学研究科光工学専攻)

「紙とディスプレイ間の疲労差の要因分析—手持ち効果の評価—」  
Imaging Conference Japan 2009, pp. 41-44



受賞理由: 紙、電子ペーパーおよび液晶ディスプレイを用いたときの読書作業を自由および固定の両呈示条件において行ったときの疲労特性を定量評価した。3種の読書においていずれも疲労兆候は自由条件では見られず、固定呈示条件では見られた。

# 受賞者リスト

## 学会賞

1993 井上英一  
菊池真一  
1994 三川 禮  
1995 小門 宏  
坂田俊文  
1996 河村孝夫  
1997 木原信敏  
1998 本庄 知  
1999 栗田隆治  
2000 遠藤一朗  
2001 高橋恭介  
2002 横山正明  
2003 碓井 稔  
平倉浩治  
村山徹郎  
2005 水口 仁  
2006 竹内 学  
2007 細矢雅弘  
2008 半那純一

## 功労賞

1993 木脇久智  
近藤厚實  
1994 窪田啓次郎  
坂巻資敏  
松井 茂  
1995 今村舜仁  
中村堅一  
1996 柿井俊一郎  
江田研一  
1997 野田栄三  
山本 隆  
1998 昼間健治  
山口隆司  
1999 高島祐二  
土屋元彦  
2000 田嶋紀雄  
2001 情野國城  
2002 本庄 知  
滝口孝一  
小口寿彦  
2004 大野 信  
北村孝司  
木村正利  
2005 横山正明  
鈴木 明  
2006 鈴木弘治  
高橋 通  
星野坦之  
2007 中山喜萬  
深瀬康司  
2008 水口 仁  
竹内 学  
中村俊治

## 会長特賞

2000 羽根田 哲  
2001 情野國城  
Min-Kai Tse  
2002 安達春夫  
2003 平原修三  
安達昭三  
2004 金 栄順  
上原利夫  
2005 安藤祐二郎  
金 銀慶  
2006 稲垣敏彦  
緒方信康  
2007 武田布千雄  
中島淳三  
Inan Chen  
2008 板谷正彦

## 研究奨励賞

1984 武田布千雄  
1985 梨木恵一  
1986 高橋隆一  
1987 笠井利博  
1988 小田 元  
佐々木幸雄  
山本 肇  
1989 小寺宏暉  
柳田和彦  
1990 細矢雅弘  
松井乃里恵  
山口康浩  
1991 面谷 信  
田中俊春  
弘重祐司  
1992 上原康博  
松井利一  
1993 赤木秀行  
園田泰子  
堀田吉彦  
1994 梅田 実  
古川和彦  
村井和昌  
1995 天野哲也  
勝目 正  
古谷信正  
1996 長山智男  
平本昌宏  
松本卓士  
1997 小谷野 武  
平川弘幸  
山口幸生

1998 中山信行  
李 源渉  
1999 久保田哲行  
趙 国来  
福本 宏  
2000 原田陽雄  
高橋朋子  
2001 金澤祥雄  
水口由紀子  
2002 平林 純  
村本秀也  
2003 町田義則  
長山智男  
大石亮太  
2004 中嶋道也  
紅林良之  
真常 泰  
2005 春原聖司  
藤本慎也  
2006 田中俊介  
坂本 祥  
2007 大野 玲  
長山智男  
伊藤めぐ  
2008 遠藤 寿  
中川靖子

## 名誉会員

2001 井上英一  
近藤厚実  
窪田啓次郎  
三川 禮  
坂田俊文  
2002 小門 宏  
今村舜二  
2003 河村孝夫  
江田研一  
2004 高橋恭介  
2008 横山正明

## 日本画像学会コニカミノルタ研究奨励賞

2005 山口留美子  
2006 谷中一寿  
2007 水口 仁  
2008 渡邊敏行・平田修造

## 日本画像学会コニカミノルタ研究賞

2005 藤本慎也  
2006 坂本 祥  
2007 土井孝次  
2008 遠藤 寿







## 論文賞

- 1977 本庄 知、田口誠一  
1981 高橋 通、細野長徳、神辺純一郎、豊野 勉  
1983 ① 下木原 滋、加藤義明、板倉良介、横山正明、三川 礼  
② 高島祐二、石田英輔、粒崎 繁、弓場上恵一、下間 亘  
1985 河村尚登、門脇秀次郎、北島信夫  
1987 武田布千雄、坂本康治、小林一雄  
1989 寺尾和夫、稲葉 繁、伊藤健介  
1991 松井乃里恵、岡 孝造、稲葉義弘  
1993 ① 細矢雅弘、斎藤三長  
② 佐々木幸雄、木村正利、中島淳三  
1994 池側彰仁、後藤 浩、岩佐英二、江ノ口祐次  
1995 岩田尚貴、鈴木弘治、西土和宏、沢田 彰  
1996 村井和昌、小勝 斉、喜多伸児  
1997 本間寿一、横山正明  
1998 保坂靖夫、中尾英之  
1999 宮坂 徹、山本雅志、島田 昭  
2000 ① 水口 仁、遠藤彩映、松本真哉  
② 平林 純、高橋 通  
2001 ① 情野國城、弓削静雄、上村正雄  
② 船山康弘、堀健志、吉井朋幸、上菌勉  
2002 渡辺 崇、近内健護、星野坦之  
2003 小寺宏暉  
2004 水口 仁、今永俊治  
2005 ① 真常 泰、八木 均、高橋正樹、石井浩一、高須 勲、細矢雅弘  
② 牧野崇史、井村康朗、日達昭夫、岩田昭平、水口 仁  
2006 ① 物部祐亮、山下春生、黒沢俊晴、小寺宏暉  
② 藤山高広、杉本賢一、関口未散  
2007 面谷 信、小島 聡  
2008 ① 藤本慎也、前田博己、鶴岡美秋、中山健一、横山正明  
② 岡田久雄、竹内 学

## 技術賞

- 1987 キヤノン(株) OPCとジャンピング現象を用いたカートリッジシステム、ミルタカメラ(株)パインダ型小粒径キャリアを用いた現像システム(マイクロニング方式)、(株)リコー 高感度積層型OPC感光体の開発  
1991 キヤノン(株)帯電ローラ/転写ローラシステムの開発、富士ゼロックス(株)1バースカラー電子写真プロセス技術、ミルタカメラ(株)レーザー強度変調画像再現システムの開発  
1992 キヤノン(株)紫外線熱定着システムの開発、富士ゼロックス(株)高画質デジタルカラーセレクトラファイ技術、(株)リコー 4ドラムデジタルカラー電子写真システム  
1993 日立工機(株)高速レーザービームプリント用半導体レーザー光学系の開発、(株)リコー 省スペース高画質デジタルフルカラーPPCの開発  
1994 富士写真フイルム(株)TA方式フルカラーハードコピーシステムの開発、松下電器(株)感光体内部磁石を応用した小型1成分現像方法、(株)リコー 高分子/低分子複合型熱可逆記録材料の開発  
1995 ヒューマン(株) Mach-Jet技術の開発、富士ゼロックス(株)ハイライトを重視した新規スクリーン技術“HIEST”、ミルタ(株)プロセスキャリアにおける歪補正技術  
1996 アルプス電気(株)高精細600dpi溶融熱転写印刷技術、(株)東芝、(株)テック 一成分非磁性現像を用いたクリーナレスプロセスの開発  
1997 富士ゼロックス(株)高精度タンデムカラーレジストレーション技術、日立工機(株)マルチビーム斜め走査技術による超高速レーザープリント  
1998 沖電気工業(株)1200 dpi 高発光効率 LED ヘッド、富士ゼロックス(株)高精度カラーマッチング技術(フレキシブルGCR、3D-ACCT)、山梨電子工業(株)有機感光体の光感度制御技術  
1999 キヤノン(株)デジタルフルカラー用重合トナーの実用化、富士ゼロックス(株)Color Laser Wind 3310「カラー高画質化技術」、松下電器産業(株)消耗品をオールインワンカートリッジ化したカラーレーザープリンタ  
2000 京セラミタ(株)電子写真OPC用高性能電子輸送材料の開発、富士ゼロックス(株)高画質フルカラープリンタ・複合機 Docucolor 1250/1255シリーズの開発  
2001 沖デジタルイメージング(株)高速高密度1200dpiLEDプリントヘッド、富士ゼロックス(株)オンデマンドカラープリンティングシステムColorDocuTech60の開発  
2002 富士ゼロックス(株)高画質と低環境負荷を両立する乳化凝集法チナー(EAトナー)の技術開発、(株)リコー 高速カラーレーザープリンタIPSiO Color 8000/8100シリーズの開発、キヤノン(株)注入帯電クリーナーレスシステム  
2003 キヤノン(株)カラーIH(電磁誘導加熱)定着方式の開発、東芝テック(株)電磁誘導加熱による定着器の開発、京セラミタ(株)世界最小カラータンデムプリンタFS-5016Nの開発  
2004 富士ゼロックス株式会社「面発光VCSELを用いた2400dpiレーザー露光装置の開発」、株式会社リコー「電気二重層キャパシタ補助電源による省エネ定着技術」  
2005 富士ゼロックス株式会社「冷却剥離による高画質定着装置MACSの開発」、株式会社東芝「消せるトナー「e-blue™」の開発」  
2006 パナソニックコミュニケーションズ株式会社「カラーIH定着器の加熱制御技術」、花王株式会社「新規粉砕法による高速高画質オイルレス対応ポリエステルトナー」  
2007 京セラミタ株式会社「エコロジー対応A3カラータンデムMFP KM-C4035Eシリーズ機の開発」、株式会社アルバック・コーポレートセンター「独立分散金属ナノ粒子インクを用いたインクジェット印刷による導電膜形成」  
2008 富士ゼロックス株式会社「自己走査型LEDを用いた1200dpiLEDカラー複合機の開発」  
キヤノン株式会社「透明トナーによる電子写真画像表現多様化への挑戦 imagePRESS C1+」



【2009年度選奨委員会委員リスト】

A) 学会賞、功労賞、技術賞、会長特賞、名誉会員、KM研究奨励賞

委員長 北村孝司（千葉大学）

委員 竹内達夫編集委員長、上原康博事業委員長、岡建樹財務委員長、面谷信技術委員長、阿部隆夫コンファレンス委員長、中居仁司運営委員長、中山喜萬関西支部長、半那純一国際交流委員長、長山智男広報委員長、酒井真理企画委員長

B) 研究奨励賞、KM研究賞

委員長 時吉智文（王子製紙）、狩野篤（京セラミタ）

委員 ICJ座長および委員

C) 論文賞

委員長 竹内達夫（キャノン、編集委員長）

委員 編集委員会委員